

2月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
間借り鮫まさよ	原宏一	いつもニコニコほっこりさせる笑顔の普通のおばさんなのに、鮫を握らせたら銀座の一流職人も顔負けの腕前。自分の店は持たず、間借りで鮫屋を開く雅代。そんな彼女のところには悩める若者や困りごとが舞い込んでくる――。鮫だけではなく、人の心と胃袋も握る雅代さんの魅力あふれるハートウォーミング鮫小説。
罪の境界	薬丸岳	「約束は守った……伝えてほしい……」それが、無差別通り魔事件の被害者となった飯山晃弘の最期の言葉だった。自らも重症を負った明香里だったが、身代わりとなって死んでしまった飯山の言葉を伝えるために、彼の人生を辿り始める。この言葉は誰に向けたものだったのか、約束とは何なのか。無差別通り魔事件の加害者と被害者。決して交わるはずのなかった人生が交錯した時、慟哭の真実が明らかになる感動長編ミステリー。
風の値段	堂場瞬一	それは研究者のプライドか悪魔の誘惑か！新橋署生活安全課の刑事・天木淳は洋上風力発電の最新技術データが、業界トップメーカーから、ライバル社に流出していることを知る。捜査を始めると、国内どころか海外への技術流出が目前であることが分かった。内偵捜査を始めると、鍵を握る人物が、大学時代の友人であることがわかった。卒業して二十年、まったく違う道を歩いていたふたりの運命がいま交錯する。
光のところにいてね	一穂ミチ	たった1人の、運命に出会った。古びた団地の片隅で出会った結珠と果遠。ふたりは何もかもが違った。着るものも食べる物も住む世界も。彼女に惹かれたその日から、残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられないと分かっているながら、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。ひとつの愛に惑うふたりの四半世紀の物語。
地図と拳	小川哲	【第168回直木賞受賞作】 【第13回山田風太郎賞受賞作】 「君は満洲という白紙の地図に、夢を書きこむ」 日本からの密偵に帯同し、通訳として満洲に渡った細川。ロシアの鉄道網拡大のために派遣された神父クラスニコフ。叔父にだまされ不毛の土地へと移住した孫悟空。地図に描かれた存在しない島を探し、海を渡った須野……。奉天の東にある〈李家鎮〉へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめぐり、殺戮の半世紀を生きる。日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満洲の名もない都市で繰り広げられる知略と殺戮。日本SF界の新星が放つ、歴史×空想小説。
汝、星のごとく	凧良 ゆう	【第168回直木賞候補作】 【2022王様のランチBOOK大賞】 などなど、賞&ノミネート&ランクイン多数！ 風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海（あきみ）と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた権（かい）。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。

ザリガニの鳴くところ	ディーリア ・オーエンス	【本屋大賞翻訳小説部門（2021年）】【翻訳ミステリー読者賞（第9回）】など受賞。 ノースカロライナ州の湿地で村の青年チェイスの死体が発見された。人々は真っ先に、「湿地の少女」と呼ばれているカリアを疑う。家族に見捨てられ6歳のときからたったひとりで生き延びてきたカリアは、果たして犯人なのか？ みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、物語は思いもよらぬ結末へ。
今日はいい天気ですね。 れんげ荘物語	群ようこ	有名広告代理店を早期退職したキョウコは、古いアパート「れんげ荘」で貯金を切り崩しながら自由な暮らし。近所の花店で元気なチューリップを買ってきたり、お腹周りが心配になってきたので、遠回りして買い物に出かけたり、ネコやイヌ、鳥や花や隣人とのお茶の時間などに心を癒されたり。 キョウコはささやかな楽しみを見つけながら、月10万円の暮らしをのんびり続けます
ナマケモノヨガ	新井洋行	両手をパタパタ～、だっこをするよ。ナマ、ナマ、ケモノ、ナマケモノ！ 楽しいリズムとポーズで、ナマケモノでもできるゆる～いヨガに親子でチャレンジ！

【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました！

■一般書

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド

■「ESSE」

■児童書

